

共生社会フォーラム in 静岡  
福祉支援語り部養成研修

おなまえ

## 本研修の目的

全ての国民が、障害をはじめとする生きづらさの有無によって分け隔てられることなく、人の尊厳の輝きを認め合いながらともに生きる共生社会の実現が求められています。しかしながら、“生きる意味のない命がある”、“障害者は社会に不幸をもたらすだけ”という考えに同調する声もあるなかで、共生社会を実現させるためには、その基本理念について福祉分野をはじめ広く社会に普及させる必要があります。誰もが等しく基本的人権を享有するかけがえのない個人として尊重されるものであるという理念等について学び、自らの実践につなげ、さらには所属や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み込んだフォーラムを実施します。

# 本研修に関わるスタッフ

## 【メンター】

個人、グループ作業など、わからないことがあったら、  
まずは、この人に聞きましょう。

## 【アドバイザー】

特定のグループではなく、会場全体を巡回しています。  
積極的に、アドバイスをもらいましょう。

## 【進行役】

研修全体の運営と調整、進行を担当します。

## 【事務局】

研修全般に関することで、わからないことがあれば聞いてください。

# 福祉支援語り部養成研修 一般プログラム

プログラム・内容	シート
<p><b>基調講演①</b>  <b>「静岡県の障がいのある人たちの文化芸術活動の現状と展望、そして問題点」</b>  <b>遠藤 次朗 氏</b> NPO法人アートコネクトしずおか</p> <p>1968年静岡市生まれ。グラフィックデザイナー。東京でのデザイン活動を経て専門学校・高等専修学校の教員となりその後事務所を設立。自身の妻の突然の長期に渡る入院治療の経験を機に（2005年～現在も治療中）障がい児者や病気の子供たちの現状や問題点について強く意識し始める。2017年NPO法人アートコネクトしずおかを設立。芸術の手法を用いて「障がいのある人」や「病気の子供たち」を支援する活動を展開中。</p>	2
<p><b>基調講演②「かけがえのないいのちの発信～福祉の思想の伝え方～」</b>  <b>野澤 和弘 氏</b> 植草学園大学副学長・教授／毎日新聞客員編集委員</p> <p>1983年早稲田大学法学部卒業、毎日新聞入社。2009年より論説委員を務める。いじめ、引きこもり、薬害エイズ、児童虐待、障害者虐待などに取り組む。主な著書に「あの夜、君が泣いたわけ」（中央法規）、「障害者のリアル×東大生のリアル」（ぶどう社）、「なぜ人は虐待するのか」（Sプランニング）、「わかりやすさの本質」（NHK出版）。</p>	3
<p><b>【映像】NHKスペシャル「ラストメッセージ この子らを世の光に」</b></p> <p>日本初の公的福祉施設「近江学園」設立に尽力した糸賀一雄と彼を支えた池田太郎や田村一二らについて紹介。障害のある子どもたちと寝食を共にし、生き生きと暮らす糸賀や職員たちの姿を記録した当時のフィルムに映るのは、まさに「福祉」の原点と言える。</p>	4

## 福祉支援語り部養成研修 研修プログラム概要

§	到達目標	研修内容
<b>A</b> 15:00 ~16:55	共生社会の根幹にある、 福祉の思想と普遍的な価値を 理解する	【ワークA】研修プログラム①を考える 【ディスカッション】共生社会について考える 【全体共有】
<b>B</b> 16:55~ 翌14:30	相模原障害者施設殺傷事件に対する さまざまな意見から多様な考え方と “違い”を理解する  「問いかけ」を言語化し、 共感のためのいくつかの 「語りかけ」を言語化する	【ワークB-0】感情の整理 【オリエンテーション】 【ワークB-1】感情の源泉の整理 【ワークB-2】「問いかけ」による言語化 【グループ共有】 【オリエンテーション】 【ワークB-3】「語りかけ」による言語化 【ディスカッション】「問いかけ」「語りかけ」の検証 【全体共有】
<b>C</b> 14:40 ~16:00	自分の職場をイメージしつつ、 語りの場を実践していくための アクションプランを作成する	【オリエンテーション・事例紹介】 【ワークC-0】語る相手を想定する 【ワークC-1】語りの場のコンセプト整理 【ワークC-2】アクションプランの作成 【ワークC-3】アクションプランの共有と更新 【まとめ】総括と決意表明テスト

# ワークシートの使い方

## ◎自分の内面と向き合う

この研修は、技術習得や課題解決が目的ではありません。自分の内面と向き合うことで、思いや考えを整理することが目的です。

## ◎他人に伝えるための整理

限られた時間で考えや意見をきちんと伝えるためには、内容を整理し、優先順位をつけることが重要です。特に1分の場合、テーマを2つ程度に絞ると効果的です。また、無理にまとめようとせず、わからないものはわからないものとして、整理することも大切です。

## ◎事前準備の重要性

テキストは自分の内面と向き合うための1つのきっかけです。また、グループの議論をより深いものにするために、テキストを読んで、事前準備シートの記入をお願いします。

## 【事前準備シート】福祉支援語り部（中堅）

シート  
No. 1

ふりがな	職種	福祉業界での 経験年数
おなまえ	所属	
<研修に参加した動機> <input type="checkbox"/> 自ら希望して <input type="checkbox"/> 推薦 または 指名されて <input type="checkbox"/> その他 ( )		
<研修に参加した理由>		<研修にあたっての不安>
<相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、 あなた自身が、その当時、感じたこと、考えたこと>		<相模原障害者施設殺傷事件のことを聞いて、 あなたの職場や周囲で、おこった反応や感じた雰囲気>
<糸賀一雄関連資料（テキスト「ほほえむちから」およびテキスト資料1・2 p. 1～60）を読んだ感想>		

別紙でA3のワークシートを事前にお送りしています

アンダーラインやふせん等でチェックしてください。またそこからいくつかを取り上げて、内容（ポイント）を整理し、なぜ気になったかも含めて以下にまとめてください。

気になった部分(ページ数・上から○行目など)	書かれている内容となぜそれが気になったか

## 【メモ】 基調講演①での学びや気づき、気になった点をメモしましょう

研修開始までに、下記の内容を整理してください（研修で使います）。

〈印象に残ったこと〉

〈基調講演①から得た学び・気づき〉



## 【メモ】 基調講演②での学びや気づき、気になった点をメモしましょう

研修開始までに、下記の内容を整理してください（研修で使います）。

〈印象に残ったこと〉

〈基調講演②から得た学び・気づき〉

## 【メモ】 映像での学びや気づき、気になった点をメモしましょう

研修開始までに、下記の内容を整理してください（研修で使います）。

〈印象に残ったこと〉

〈映像から得た学び・気づき〉

# 研修中のルール

## ①限られた時間を有効に使うために

### ◎準備はしっかりしましょう

<基本的な流れ> 個人作業→グループ共有→議論

### ◎個人作業

ワークシートは、文章ですべてを埋める必要はありません。

自分がまとめやすいように、キーワードの列挙でもかまいません。

### ◎グループ共有／議論

この研修では議論の密度が、各自の成果や成長に直結するといっても過言ではありません。積極的な発言と主体的な参加が期待されるとともに、研修を早退・遅刻をすることは、自分だけでなく、他のメンバーの成長の機会を奪うものであることを認識してください。

# 研修中のルール

## ②正解のない問題に向き合うために

◎対等な立場で接しましょう 役職・年齢・関係を気にしない

◎建設的に対話を進めていきましょう

◎色眼鏡をかけず、物事を広い視野と心で見ましょう

◎積極的にディスカッションに参加する

発言の責任を意識しすぎない、突飛な意見でも恥ずかしくせずに。  
思いつき歓迎、ただし、テーマから外れないように注意。  
そして、遠慮なくパスする勇気を。

→今は「わからない」、「どちらともいえない」という選択肢

## 研修中のルール

③一緒に考えるメンバーに、尊重の念を表す

◎意見を述べている人に体・目線を向ける

◎自分と違う意見も、最後まで聞く

さえぎらない、批判・批評（でも、それってさ～）はNG！  
だからといって「肯定」しなくてもよい

⇒「否定をしない」 ≠ 「賛同・認める」

◎あいづち、うなづきなどジェスチャーを入れる

「うんうん」「そうそう」などもGood！

「なるほど」「へ～」「いいですね～」など、賞賛の言葉を述べる

とにかく、話しやすい雰囲気をつくる

**福祉支援語り部養成研修**

**section A**

**15:00-16:55**

## 福祉支援語り部養成研修 セクションA

時刻	プログラム	内容	シート
15:00	【ワークA】40分 一般プログラムをふりかえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般プログラムで考えたことを整理する ふりかえりシート5記入 10分</li> <li>グループ内での共有 25分</li> </ul>	2-5
15:40	休憩		
15:55	【ディスカッション】40分 共生社会について考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生社会についてディスカッション</li> <li>・模造紙とポストイットで整理</li> </ul>	6
16:35	【全体共有】20分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンターから共有</li> <li>・アドバイザーからコメント</li> </ul>	7
16:55	セクションB〈前半〉へ		

## 【ワークA】一般プログラムについてふりかえる

〈一般プログラムから得た学び・気づき〉

〈疑問・違和感〉

実は、今ひとつ納得できていないことが…  
確かにそれが理想だけど、現在現実を考えると…  
今さら、こんなことは聞きづらいのだけど…

〈グループメンバーの考え・意見：自分とは異なる視点、新たな気づきや疑問、違和感〉



## 【ディスカッション】 グループ発表用まとめ

共生社会と呼べる状況

わからない  
どちらともいえない状況

共生社会と呼べない状況

## 【セッションA】ふりかえりシート

〈各グループの報告・意見交換メモ、報告・意見交換を通じて得られた学び・気づき〉

〈今日のふりかえりと明日にむけて：研修を受ける前との変化、研修で得られた学び・気づき、明日の注意点〉

【メモ】

【メモ】

# 【アイスブレイク】 かたちをことばに、ことばをかたちに

出題者：

出題者：

出題者：

出題者：

# 福祉支援語り部養成研修

## section B

1日目 16:55- 2日目 14:30

## 福祉支援語り部養成研修 セクションB 〈前半〉

時刻	プログラム	内容	シート
16:55	【ワークB-0】35分 多様な意見と向き合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相模原障害者施設殺傷事件をふりかえる</li> <li>・さまざまな意見や価値観と向き合う</li> </ul>	8
17:30	1日目終了		
9:30	チェックイン 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイスブレイク②</li> </ul>	
9:40	【オリエンテーション】15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨日のふりかえり</li> <li>・セクションBの内容とねらい</li> </ul>	
9:55	【ワークB-1】30分 感情と源泉の整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らと向き合うことで、意見に対する感情を整理し、それらが生じる感情の源泉を探る</li> </ul>	8
10:25	【ワークB-2】25分 「語りかけ」の方法①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問いかけ」のイメージを共有する</li> <li>・背景説明 3分 語りかけ 5分 共有10分</li> </ul>	9-1
10:45	休憩		
10:55	【ワークB-2】20分 「語りかけ」の方法②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問いかけ」のイメージを共有する</li> <li>・背景説明 3分 語りかけ 5分 共有10分</li> </ul>	9-2
11:15	【ワークB-2】20分 「語りかけ」の方法③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問いかけ」のイメージを共有する</li> <li>・背景説明 3分 語りかけ 5分 共有10分</li> </ul>	9-3

## 福祉支援語り部養成研修 セクションB 〈後半〉

時刻	プログラム	内容	シート
11:35	【ワークB-3】 35分 「問いかけ」を考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な価値観との対話のきっかけとなる「問いかけ」を考える</li> <li>・問いかけの設定 10分 なぜなぜ検討10分 シート記入10分</li> </ul>	10-1
12:10	昼休憩 50分		
13:00	【ワークB-4】 30分 「語りかけ」による言語化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問いかけ」に対する「語りかけ」 メンバーの問いかけへの語りかけ 5分×人数 戻ってきた自分のシートへの記入 5分</li> </ul>	10-2
13:30	「語りかけ」の確認 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シート回覧・コメントの確認と加筆</li> </ul>	10-2
13:45	【共有】 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスターセッション形式による閲覧</li> </ul>	
14:00	【ディスカッション】 30分 「問いかけ」「語りかけ」の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語化された「問いかけ」「語りかけ」の ふりかえり</li> <li>・ワークBについて自由に意見交換（30分）</li> </ul>	10-1 10-2
14:30	休憩 10分		



## 【ワークB-1】自分の内面と向き合う

相模原障害者施設殺傷事件を聞いた当時、あなたやメンバーはどう感じたのか？

テキスト資料「相模原障害者施設殺傷事件に関する市民の声」のなかで、自分の理解できない意見や価値観に対して、自分の内面と向き合うとともに、そのときに湧き起こる感情とその源泉（要因）を探って、整理しましょう。

どんな意見に対して	どのような感情を持ちましたか？	感情の源泉（要因）
別紙でA3のワークシートを同封しています		

メンバーによる共有をふまえて、自分の感情と源泉の整理を見直し、自分が「気づいていなかったこと」やバイアス（感じ方の癖）を確認しましょう。

## 語りかけ練習シート その①

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問いかけ

【誰から】 祖母あるいは祖父

【どんな状況で】 知的障害者施設に就職したことを報告したとき

障害者の面倒なんて、家族が見るものでしょ。そんなことに税金を使って、そのお金をもらう仕事なんて、仕事と言えるの？

【なぜ答えに窮したと思いますか】

【どのように語りかけるか】

【メモ】

## 語りかけ練習シート その②

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問  
い  
か  
け

【誰から】後輩の福祉施設職員      【どんな状況で】相模原の事件の後で  
どうしても反りの合わない子（7才）がいてイライラしてしまう。植松のやったこ  
とは許されないが自分もたまに手が出そうになる時もある。私は施設を辞めるべき  
でしょうか。

【なぜ答えに窮したと思いますか】

【どのように語りかけるか】

【メモ】

## 語りかけ練習シート その③

以下の「問いかけ」に対して「語りかけ」を練習しましょう。

問  
い  
か  
け

【誰から】自殺念慮のある思春期女性（1人親貧困家庭育ち、薬物療法効果なし）  
PTSD、性虐待、人格障害、ミュンヒハウゼン、乖離性障害、躁鬱…

【どんな状況で】精神状態が落ち着いている時  
どうして死んだらダメなんですか？

【なぜ答えに窮したと思いますか】

【どのように語りかけるか】

【メモ】

### 【ワークB-3】「問いかけ」を考える

シート  
No. 10-1

「相模原障害者施設殺傷事件」を含む「共生社会のありかた」について、  
職場の職員、利用者やその家族など、自分の周囲を想定して、  
理解できない、自分とは反する価値観を含む、  
あるいは、自己矛盾や葛藤により、答えに窮するような「問いかけ」を考えましょう。

誰からの	どんな「問いかけ」

**別紙でA3のワークシートを同封しています**

なぜ相手は問いかけたのか	なぜあなたは答えに窮したのか

シート10-2の上部に書き入れる際のメモとして活用してください。

【誰からの】	【どんな問いかけ】

【問いかけられた状況やきっかけ、なぜ答えに窮してしまったか】

あなたのなまえ ( )



## 【セクションB】メモ&ふりかえりシート

〈ディスカッションを通じて得られた学び・気づき、問いかけ・語りかけで大事なこと〉

他グループの「問いかけ」と「語りかけ」から得られた学びと気づき

いいね！と感じた「問いかけ」

いいね！と感じた「語りかけ」

【メモ】



**【メモ】**

# 福祉支援語り部養成研修

## section C

14:40-16:00

## 福祉支援語り部養成研修 セクションC

時刻	プログラム	内容	シート
14:40	【オリエンテーション】 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>アクションプランの事例紹介</li> </ul>	
14:50	【ワークC-0】 5分 語る相手を想定する	<ul style="list-style-type: none"> <li>語る相手を具体的にイメージする</li> </ul>	13-1
14:55	【ワークC-1】 20分 語りの場のコンセプト整理	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンセプト整理 20分</li> </ul>	12
15:15	【ワークC-2】 20分 アクションプランの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>アクションプラン作成 15分</li> </ul>	13-1 13-2
15:35	【まとめ】 20分 総括と決意表明	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループでまとめと各自の決意表明</li> </ul>	14
15:55	閉会あいさつ・事務連絡		
16:00	全プログラム終了		

# 【ワークC-1】 語りの場のコンセプト整理

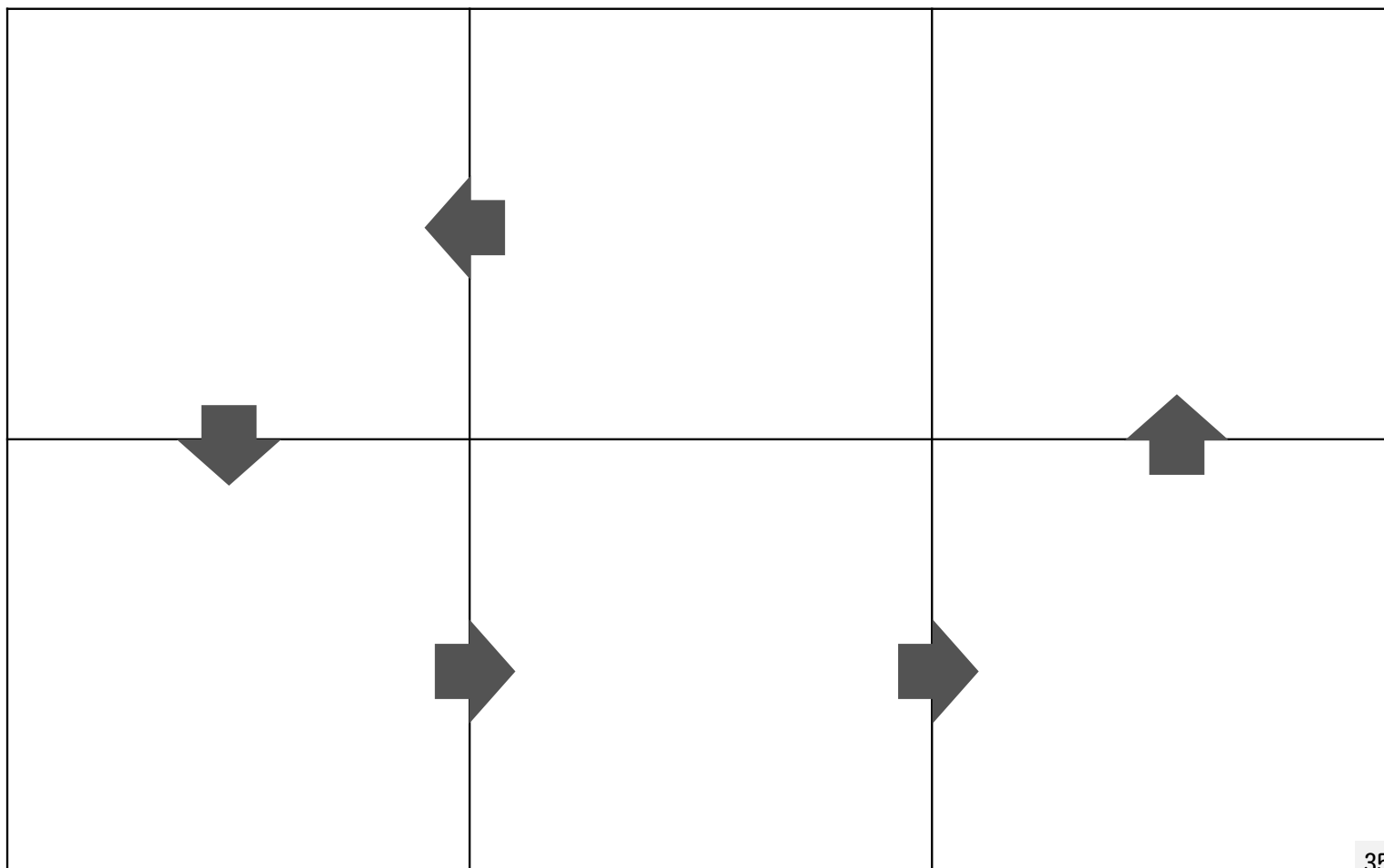
相模原事件のとき

普 段

これから

良い点

悪い点



# 【ワークC-1】 語りの場のコンセプト整理

相模原事件のとき

普 段

これから

前向きな考え

②

あの当時を振り返って感じた、自分の現場のコミュニケーションで、

- ・よかった点
- ・安心した点
- ・希望を感じたところ

①

現在、対内外関わらず情報共有の機会意見交換の場などで、

うまくいっている  
いい感じ、悪くない  
と考えているところ

⑥

将来、  
このままの感じで続けたい  
こういうイメージを実現したい

否定的な考え

③

あの当時を振り返って感じた、自分の現場のコミュニケーションで、

- ・危うさや危機感
- ・怖さ
- ・ズレや違和感

④

現在、対内外関わらず情報共有の機会意見交換の場などで、

うまくいっていない、  
なんとかならないか、  
と考えているところ

⑤

このまま続けるといやだなあ…  
変えたい  
こうなっては困る

# 【ワークC-2】アクションプラン：語りの対象

シート  
No. 13-1

<p>〈対象者：語りを伝えたい相手〉</p>	<p>〈対象の特徴〉 ex. 興味のない話はほとんど聞かない、話の一部を聞いて全部わかった気になる、他人の話を鵜呑みにするetc…</p>
<p>〈対象者の現在の状態（課題）〉</p>	<p>〈対象者の目指すべき方向（語りに期待する効果）〉</p>
<p>〈組織内部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p>	<p>〈組織外部の協力者や対象者を支えてくれる人〉</p>

# 【ワークC-2】アクションプラン：シチュエーション

シート  
No. 13-2

<p>〈語りのシチュエーションの呼び名〉</p>	<p>〈実施する頻度・期間・人数・場所〉</p>
<p>〈具体的な方法（プログラム・内容）〉 可能であれば、タイムテーブルを組んでみよう！</p>	<p>〈語りの際に留意すべきポイント〉 上の〈対象の特徴〉もふまえて</p>

## 【セクションC】メモ&ふりかえりシート

シート  
No. 14

〈他の人のアクションプラン・講評を聞いて〉

〈研修の総括・決意表明〉



【メモ】

**【メモ】**